



おむすびカルチャー

2022/11～2023/3 (第18回～第21回)

おむすびハウス&Zoomハイブリッド開催

おむすびハウスは、地域の居場所、出会いの場、交流の場です。運営に参加いただくボランティアの皆さんと一緒に様々な企画や活動を行っています。

絵本と親子遊びの会 ～この春で休会します～

2019年6月からスタートした「絵本と親子遊びの会」は、この春でお休みすることになりました。この会では、幼稚園の先生をされている大山恵子先生が、月1度、ご自宅で集められたたくさんの絵本の中から、赤ちゃんたちにも楽しんでもらえる季節の絵本や大型絵本、ママたちへのメッセージがこもった心温まる絵本などたくさん持ってきて読んで下さいました。このほかにも、親子で触れ合えるわらべ歌を教えてもらったり、段ボールや画用紙などを使ってできる工作をご指導いただきました。

毎回、6か月から2歳くらいまでの親子さんたちが、4～7組くらい参加していました。参加された当初は、まだ、ママにだっこされていた赤ちゃんたちも、月日の成長とともにお部屋の中をちょこちょこ笑顔で歩き回るようになり、この前の3月16日に行われた工作遊びでは、段ボールで、かわいらしいスリッパを作り、お子さんたちもすっかり気に入って履いて喜んでいました。

とても楽しい会でしたが、4月からママさ

んたちはお仕事に復帰される方も多く、お子さんたちは保育園に通われることになるため、おむすびハウスでの活動はひとまずお休みとさせていただきますことになりました。

5月ころから、大山先生がご自宅で、月一度、絵本の会を開催することを考えていらっしゃいますので、また、開催が決まりましたらお知らせしたいと思います。

大山先生はじめ、ボランティアでお手伝い下さった皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。お子さんたちの成長を眺めながら、こちらで癒されました。(藤原)



第19回「オンラインの旅 金沢蓄音器館を訪ねて」～初挑戦 現地から生中継～ (12月26日)

「蓄音機」。電気を使わず手回しやゼンマイでレコードを回転させ、音を再生する装置です。犬が耳を傾けるあのロゴマーク、有名ですね。最近、見かけることはまずありませんがそんな蓄音機の博物館が金沢市にあります。その魅力に惹かれたスタッフが現地に向い、Zoomでの生中継に挑戦しました。

前日の25日は各地で大雪。金沢も積雪で、スタッフの現地入りが心配されましたが何とか飛んだ飛行機でたどり着くことができました。

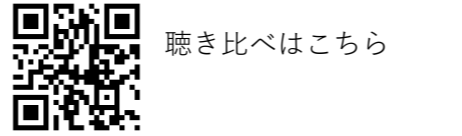
金沢蓄音器館の所蔵する蓄音機は600台ほど。エンジン社製の蝸管式蓄音器や縦振動式のほか有名蓄音器でSP盤の音色を館長さんの解説付き実演で楽しむことができます。



八日市屋(ようかいちや)典之館長にお話を伺いました

「蓄音器はその日の湿度によっても音が変わり、まさに楽器ですね。」

聞き比べはこちら



第18回「おむすび寄席」～寄ってらっしゃい 見てらっしゃい～ (11月27日)

毎年恒例になった「おむすび寄席」。今年は「武蔵野落語同好会」の皆さんと「江戸小唄笑い広げ鯛」の天福亭笑英さんが出演。会場のおむすびハウスに笑いの渦が広がりました。



第20回「アフリカプロジェクト」正しい仕事に人集まる～心の点火術～ 講師 吉村 司 さん (2月25日)

子供たちのキラキラ輝く瞳の先にあるものは、...、ワールドカップサッカーの大画面、そして夢や希望。電気の来っていないガーナやコートジボアールでパブリックビューイングを実現させた吉村さん。民間企業という制約の中での、JICA(国際協力機構)と連携し保健事業も実現させた苦労話、一緒に駆けつけた友の死など感動に満ちたお話をお聞きすることができました。



講演はこちらでご覧いただけます <https://youtu.be/oVL41VBKzY>



まだ電気がきていないアフリカの人たちに、サッカーの試合をテレビの同時中継で見せてあげたいとの「想い」を実現した体験談に感動しました。広場に千人以上の人が集まって、テレビに熱狂。特に喜びと感動で瞬きも止まない、まん丸く見開いた子供たちの目が実に印象的でした。

日本でテレビが始まって今年がちょうど七十年。当時9歳だった私は、電気屋や床屋のテレビでカ道山の空手チョップや大相撲の栃若の熱戦を、大人たちのあいたから身を乗り出して見て興奮したことが、昨日のこのように思い出されました。

江嶋勇藏さん(下連雀)

第21回「竹で生きる」～竹の新たな活かし方を求めて～ 講師 田崎 建 さん (房総竹部部長) (3月8日)

日本人の生活に欠かせなかった竹ですが、ライフスタイルの変化であまり利用されなくなっています。竹に魅せられ、木更津で工房(房総竹部 ぼうそうたけぶ)を開きながら、全国を飛び回って竹の活用と加工技術を広めている田崎さん、そんな「現代の竹取の翁」のお話をお聞きました。

竹細工、メンマ作り、竹楽器作りなど先人たちの残した技術を活かしつつ、現代生活の中での竹の活かし方を模索しています。話題豊かで楽しいお話に加え、工房から竹細工の実技や竹楽器の演奏をライブ映像で披露していただきました。



房総竹部ウェブサイトはこちらからどうぞ

心のエクササイズ

杏林大学井の頭キャンパスでの岡村ゼミ企画のワークショップに参加して卓球などのゲームを楽しみました(1月12日午後)。これも一つのことに集中して心の健康を保つマインドフルネスです。



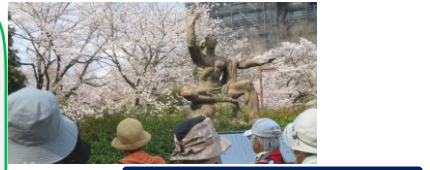
岡村先生の講演

講演会「ウィズエイジングのすゝめ」(2月16日午後)

「心のエクササイズ」(マインドフルネス)でご指導いただいている杏林大学教授の岡村裕先生に、「ウィズエイジングのすゝめ」というテーマでお話いただきました。老い方(エイジング)をどのように捉えるかということや、前向きな生き方(ポジティブエイジング)などの考え方を教えていただきました。老いを受け入れながら充実した生活を送るには、マインドフルネスを実践し、心の安寧を保つことが大切であるというお話しに、来られた多くのみなさんがうなずかれていました。

仙川公園の桜と歴史散歩

3月30日の午後、大戸理恵子さんのガイドで、仙川平和公園では珍しい桜の種類や公園の由来、そして勝淵神社、島屋敷遺跡などの歴史を学びながら、淡いピンク、白、黄緑色の桜の中を散策しました。



フラワーデザインは毎月のテーマを決めてお花を生けています

昨年12月は「お正月の花」...日本の伝統文様～青海波～がプリントされた器を使い、仕上げに紅白の水引を入れてお正月らしさを表現しました
1月は「新春のギャザーアレンジメント」...バラ、ランキュラス、アネモネなどの花を使い、ラフネットの器を手作りして華やかな感じを出しました
2月は「ふわふわの器に」...不織布を使った手作りの器で、雪の中から春の花が顔を出したイメージでデザインしました
3月は「フレームの中の花」...絵や写真を額に入れるように、花にも自然の植物で額をつけました



麻雀クイズ アガリ牌を教えてください(答えは最終面下)

- (1) 一萬 一萬 二萬 二萬 三萬 三萬 四萬 四萬 五萬 五萬 六萬 六萬 七萬 七萬 八萬 八萬 九萬 九萬 中 中
- (2) 一萬 一萬 二萬 二萬 三萬 三萬 四萬 四萬 五萬 五萬 六萬 六萬 七萬 七萬 八萬 八萬 九萬 九萬 中 中 中
- (3) 一萬 一萬 二萬 二萬 三萬 三萬 四萬 四萬 五萬 五萬 六萬 六萬 七萬 七萬 八萬 八萬 九萬 九萬 中 中 中

「虫食い川柳」(船岡五郎氏作)
○の部分に漢字を入れてください
① 起き抜けに ○ ○ ○ つぶやく 定年後
② 捨てられた 僕の宝は 妻の ○ ○ ○
③ お互いが 支えていると いう ○ ○ ○
(答えは最終面下にあります)